

県連ニュース

憲法・いのち・社会保障まもる10・11国民集会

発行者：木原 望
TEL：096-387-2826
FAX：096-381-5442

東京で開催された憲法・いのち・社会保障をまもる10・11国民集会に熊本からくわみずの桜井さん、くすのきクリニックの秋吉さん、八代中央クリニックの柏木の3名で参加してきました。集会の前には靖国神社を見学しました。初めて訪れたのですが、普通の神社とは比べ物にならないくらい規模でとても驚きました。神社の中には警備や警視庁の職員などが境内中に配置されており、とても異様な雰囲気でした。集会には全国の民医連、労組、共同組織等から約3700人が参加し、日比谷野外音楽堂の会場一杯に埋め尽くす程でした。リレートークでは医療・介護の現場からの過酷な現場の現状と現政権における社会保障制度改悪を食い止めようという強い訴えがあり、会場が熱気に包まれていました。改めていのちを守る民医連職員として社会保障改悪を食い止めるために行動していくことが大切であると感じました。集会後には銀座近辺でデモ行進を行いました。こんなに大規模なものは初めてだったので、とても良い経験となりました。今回の経験を職場でも共有して日頃の活動に生かしていきたいと思いません。

八代中央クリニック 柏木奈津子



自治体キャラバン開催中

熊本県内45自治体と社会保障の事について懇談をする自治体キャラバンを10月22日から社会保障推進協議会（以下社保協）で行っています。社保協の構成団体は熊医労・医労連、県労連、新婦人、県商連、年金者組合、生健会、きょうされん、豊かにする会、民医連、県国公などですが、各団体から子ども医療費の問題や、障害者福祉、医療・介護、国民健康保険などについて様々な発言を行っています。民医連参加者は主に国保44条の運用や周知方法についてと、全日本民医連の手遅れ死亡事例の報告を行っています。なお、11月9日まで開催予定で参加者を募集しています。

県連事務局（熊本県社保協事務局長） 井長 秀典

